

ARIBの動き

第24回PHS MoUグループ総会及びXGPフォーラム設立記念セレモニーを開催

4月2日に、全日通霞が関ビル(東京都千代田区霞が関)において、中国、台湾、カナダ、タイ、イスラエル、フィンランド、日本等の国、地域から91名の参加のもとに、第24回PHS MoUグループ総会及びXGP (eXtended Global Platform)フォーラム設立記念セレモニーを開催しました。

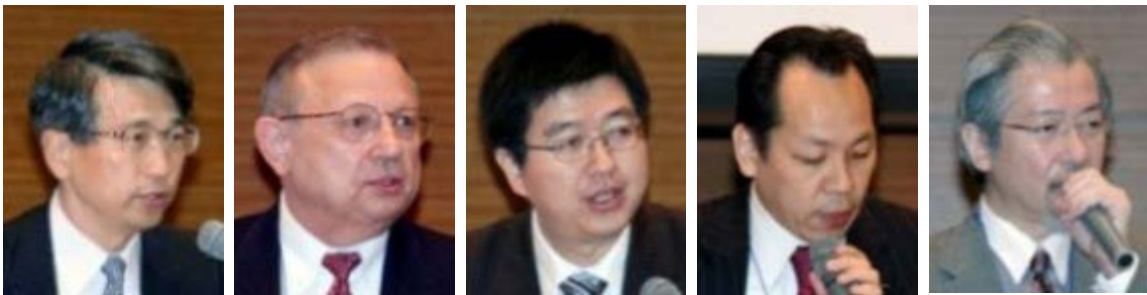
午前のPHS MoUグループ総会においては、グループ名を「PHS MoUグループ」から「XGPフォーラム」に変更すること、XGP及びXGPロゴの使用指針、XGPフォーラムの契約・工業所有権の基本指針(IPRポリシー)の改訂及び補足事項並びに2008年度決算報告が承認されました。

午後のXGPフォーラム設立記念セレモニーにおいては、吉田靖氏(総務省総合通信基盤局電波部長)、Sam Endy氏(XGPフォーラム副議長、EMC)、Q. Qian氏(ZTE副総裁)からの挨拶に引き続き、近義起氏(XGPフォーラム副議長、(株)ウィルコム)により「XGPの技術について」という演題で、また、杉浦正一氏(XGPフォーラム事務局長、電波産業会)により「XGP (eXtended Global Platform) TDDワイアレスブロードバンド通信 日本からアジア／世界に！」という演題でプレゼンテーションが行われました。

プレゼンテーションの後には、活発な質疑応答が行われました。



第24回PHS MoUグループ総会の様子とXGPロゴ(タイプ1)



XGPフォーラム設立記念セレモニーにおけるプレゼンテーションの様子と
吉田靖電波部長、Sam Endy氏、Q. Qian氏、近義起氏及び杉浦正一氏(左から)

ARIBからのお知らせ

第73回規格会議で承認された標準規格等の電子ファイルの提供について

平成21年3月18日に開催された第73回規格会議で承認された標準規格8件(改定)及び技術資料3件(改定)の電子ファイルをホームページにアップロードしましたのでお知らせいたします。

今回アップロードされたのは、以下の標準規格及び技術資料です。

- (1) IMT-2000 DS-CDMA and TDD-CDMA System 標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T63 Ver.7.20及びARIB TR-T12 Ver.7.20)
- (2) IMT-2000 MC-CDMA System 標準規格及び技術資料
(ARIB STD-T64 Ver.4.80及びARIB TR-T13 Ver.4.80)
- (3) OFDMA Broadband Mobile Wireless Access System (WiMAX™ applied in Japan)
ARIB STANDARD (ARIB STD-T94 Ver.1.4)
- (4) OFDMA / TDMA TDD Broadband Wireless Access System (Next Generation PHS)
ARIB STANDARD (ARIB STD-T95 Ver.1.2)
- (5) 特定ラジオマイクの陸上移動局の無線設備標準規格 (RCR STD-22 3.0版)
- (6) デジタル簡易無線局の無線設備標準規格 (ARIB STD-T98 1.1版)
- (7) 地上デジタルテレビジョン放送用デジタルSTL/TTL伝送方式標準規格
(ARIB STD-B22 2.0版)

- (8) デジタル放送におけるアクセス制御方式標準規格 (ARIB STD-B25 5.1版)
- (9) アスペクト比16:9の画面におけるセーフティゾーン技術資料 (ARIB TR-B4 2.0版)

電子ファイルのダウンロードが初めての方は、以下のページの注意事項等を確認の上、行って下さい。ダウンロードリスト(一覧表)へのリンクも、下記ページに張られています。

http://www.arib.or.jp/tyosakenkyu/kikaku_tushin/index.html

総務省からのお知らせ

「情報通信分野におけるエコロジー対応に関する研究会」報告書(案)の公表
及び本案に対する意見の募集

(平成21年4月10日の情報通信報道資料から)

総務省は、「情報通信分野におけるエコロジー対応に関する研究会」(座長：新美育文 明治大学教授)において取りまとめられた報告書(案)につきまして、平成21年4月10日(金)から平成21年5月12日(火)までの間、国民の皆様から広く意見を募集します。

1 経緯

総務省では、ICT機器・サービスの二酸化炭素排出削減及び携帯電話・PHS端末の3R(リデュース・リユース・リサイクル)活動について取組の促進に資するよう、これまでの取組を評価し、課題を抽出するとともに、今後取り組むべき施策を検討することを目的として、平成20年11月4日から「情報通信分野におけるエコロジー対応に関する研究会」を開催してきたところです。

(本研究会の構成員は別

紙1<http://www.soumu.go.jp/main_content/000016926.pdf>、同開催状況は別紙2<http://www.soumu.go.jp/main_content/000016927.pdf>のとおりです。)

今般、本研究会における検討結果を踏まえ、報告書(案)が取りまとめられましたので、これを公表するとともに、国民の皆様から広く報告書(案)に対する意見を募集します。

2 資料

別紙3「情報通信分野におけるエコロジー対応に関する研究会」報告書(案)<全体版>

<http://www.soumu.go.jp/main_content/000016928.pdf>

また、切替えに伴う受信者等への影響は次のとおりです。

3 意見募集の期限

平成21年5月12日(火)午後5時(必着)(郵送の場合も、平成21年5月12日(火)必着とします。)

4 意見募集要領

意見募集要領(別紙4<http://www.soumu.go.jp/main_content/000016929.pdf>)を御覧ください。

なお、意見募集対象は、準備が整い次第、総務省ホームページ(<http://www.soumu.go.jp>)の「報道資料」欄及び電子政府の総合窓口 [e-Gov] (<http://www.e-gov.go.jp>)の「パブリックコメント」欄に掲載するとともに、連絡先窓口において配布します。

5 今後の予定

皆様から寄せられたご意見を踏まえ、5月下旬を目途に本研究会第7回会合を開催し、研究会報告書を取りまとめる予定です。

詳細は<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/090410_01.html>をご参照ください。

平成23年以降に開始される予定の新たなBSデジタル放送等に係る 委託放送業務認定申請受付結果

(平成21年4月8日の情報通信報道資料から)

平成23年以降に開始される予定の新たなBSデジタル放送等に係る委託放送業務の認定に関し、各申請者の申請概要について、公表いたします。

1 申請概要

総務省は、平成23年以降に開始される予定の新たなBSデジタル放送等に係る委託放送業務に関し、平成21年2月24日から同年3月23日までの間、認定申請を受け付けたところ、29者からHDTV35番組等の申請がありました。

各申請について希望する周波数ごとに集計した結果は別紙1

<http://www.soumu.go.jp/main_content/000015777.pdf>のとおりであり、個別の申請の概要は別紙2<http://www.soumu.go.jp/main_content/000015780.pdf>のとおりです。

(別紙1の概要)

希望する周波数ごとの申請者数及びHDTVの申請番組数等

- ・東経110度CS放送ND 8チャンネル<割当て可能なスロット数：24スロット>

	申請者数	HDTVの 放送番組数	スロット数
当該周波数を希望したもの	15者	15番組	338スロット
うち、当該周波数を第1希望としたもの	14者	14番組	320スロット

- ・BS放送第5、第7又は第11チャンネル<割当て可能なスロット数：144スロット>

	申請者数	HDTVの 放送番組数	スロット数
当該周波数を希望したもの	19者	24番組	400スロット
うち、当該周波数を第1希望としたもの	14者	19番組	320スロット

・BS放送第19チャンネル<割当て可能なスロット数：48スロット>

	申請者数	HDTVの 放送番組数	スロット数
当該周波数を希望したもの	10者	12番組	192スロット
うち、当該周波数を第1希望としたもの	2者	2番組	32スロット

2 今後の予定

現時点では、下表のスケジュールに沿って手続を進めることを予定しています。

平成21年6月頃又は7月頃	委託放送業務の認定
平成23年10月1日（目途）	新たなBSデジタル放送の放送開始

詳細は<http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02ryutsu11_000003.html>をご参照ください。

編集後記

N.K.氏の卒業により、とうとう企画国際部の最古参となってしまいました。足かけ6年目となりますが、引き続きよろしくお願いたします。

それにしても最近のARIBニュース編集のローテーションはとてもめまぐるしく感じます。

昨年、主任研究員6名の体制になったことに加えて、2名が入れ替わりとなり、新人は1回ARIBニュース編集をパスできる特典があるため、瞬間的に4名体制となっています。

(編集子:PAO)

[ページの先頭に戻る](#) ▲